

## ■施策紹介

### ○生活道路の交通安全対策について（その1）

生活道路の交通安全対策には、どのようなものがあるかご存じでしょうか？様々な種類がありますが、大きく3つの目的（うち2つは車両の通行に関するもの）があります。

まず、「歩行空間の確保」です。車両が通行する空間と歩行者や自転車の通行空間に分けることで、安全を確保する対策です。歩道や防護柵の設置、路側帯の設置や拡幅、カラー舗装などの対策があります。

次に車両の通行に関するものとして、1つ目は、そのエリア内に用事のない車両の「進入を抑制」する対策です。交通規制と連携し、登下校の時間にあわせてライジングボラードなどを設置することにより物理的に車両の進入を防止する対策などがあります。また、下記の走行速度を抑制する対策にも進入抑制の効果が見込めます。

2つ目は、車両の「走行速度を抑制」する対策です。ハンプや狭さくなどがこれにあたります。走行速度が30km/h以上になると、交通事故の致死率が急激に増加することが分かっています（※20～30km/h時の約4倍）。

これらの対策を各地域の課題や特徴に合わせて行うことが重要です。道路管理者による対策実施事例を「生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト」に掲載していますのであわせてご覧下さい。

～対策メニュー例～

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/2-2-5.pdf>

～通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例～

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen-3h.html>

## ■事例紹介

各地で行われている取組について、ご紹介します。

（可搬型ハンプを用いた実証実験：1件、ハンプ体験会：1件、北海道開発局の取組：各1件）

### ○～通学路の安全向上に向け～

生活道路の安全性向上のため、仮設ハンプの試行的設置により自動車の走行速度を抑制する社会実験を実施します！（佐賀県小城市）

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/jirei/sg003.pdf>

※社会実験期間（平成31年1月15日～2月15日）

### ○生活道路の安全性向上に向けて「ハンプ」を自治体担当者が体験

～四国で初めて、ハンプ体験会を開催します～

[https://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/press/19\\_01\\_09/index.html](https://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/press/19_01_09/index.html)

※ハンプ体験会は終了しました。

※ハンプ体験会の様子はポータルサイト掲示版の【別紙】をご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/magazine/pdf/h3102.pdf>

#### ○北海道開発局の取組

北海道開発局ホームページに「生活道路の交通安全対策」のコーナーを掲載しています。

「北海道における生活道路エリア（平成30年12月末時点）（札幌市美園地区）」を掲載しました。

～生活道路の交通安全対策～

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_iji/ud49g7000008w0s.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000008w0s.html)

～北海道における生活道路エリア（平成30年12月末時点）（札幌市美園地区）～

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_iji/ud49g7000008w0s-att/splaat000001iky9.pdf](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000008w0s-att/splaat000001iky9.pdf)

#### ■生活道路対策エリアの取組状況

国土交通省では、ETC2.0により収集したビッグデータを活用して、効果的な交通安全対策を実施する取組を推進しています。（平成31年1月末時点：848エリア [+42]（397市区町村 [+6]）

※〔〕内は、前月からの増加。

～生活道路対策エリア一覧～

[http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/leaflet\\_2-2-3.pdf](http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/leaflet_2-2-3.pdf)

#### ■生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト

国土交通省が進めている生活道路の交通安全対策に関する資料を掲載しています。

～生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト～

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html>

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバーを掲載しています。

～生活道路の交通安全対策メールマガジン バックナンバー～

<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/magazine/index.html>

#### 【北陸情報】

##### ■可搬式ハンプの貸出

生活道路の安全性向上のために、「仮設」の可搬式ハンプを試行的に設置することで、自動車の走行速度を抑制する効果が確認できます。

北陸地域でも、可搬式ハンプの貸出をしております。

ぜひ、現地で『お試し』しててみませんか！

ご興味がありましたら、北陸地方整備局 道路管理課までご連絡を下さい。

[http://www.hrr.mlit.go.jp/road/koutsuanzen/file/leaflet\\_02.pdf](http://www.hrr.mlit.go.jp/road/koutsuanzen/file/leaflet_02.pdf)

■生活道路に関する疑問点等お問い合わせは、下記までご連絡下さい。

北陸地方整備局 地域道路課 計画係 [TEL:025-280-8880](tel:025-280-8880) (代)  
道路管理課 交通対策係 [TEL:025-280-8880](tel:025-280-8880) (代)

■編集後記

最後までご覧いただきありがとうございます。

生活道路の交通安全対策について、ご紹介させて頂きました。なかでもハンプは、国土交通省が特に力を入れている対策の一つです。全国各地でハンプ体験会等により、地域住民の皆様はその存在を知って頂く機会も徐々に増えています。北陸地方は冬期の機械除雪の障害が懸念されることから、車両の「走行速度を抑制」する対策として芳しい評価を頂いておりません。

しかし、どのようなものか一度体験、実験したい市町村があればお声がけください。可搬式のハンプ装置をお貸し出来ますので、生活道路対策を検討して頂くなかで、候補の一つとして挙げて頂けると幸いです。

また、新潟市中央区の日和山小学校校区では、平日朝の通学時間帯の45分間、交通規制による通過交通の進入抑制対策を実施しており、それを補完するハード対策としてライジングボラードを活用しています。これにより、小学校の児童や隣接する中学校の生徒は、安全安心に通学をされています。またライジングボラードが上昇していない時間帯は、狭さくとして機能しており、当該路線に設置している他の狭さくも合わせて、車の走行速度の抑制を図っています。

こうした対策を進めるにあたっては、地域住民の皆様のご理解と警察、道路管理者の連携が必要であり、実施するには多くの調整が必要となります。しかし、雪国における「通学時間帯の通過交通の進入抑制」や「車の走行速度抑制」対策の一つとして、新潟市で運用実績があるライジングボラードについても是非検討して頂きたいと思えます。

(通学路におけるライジングボラードは、全国で唯一、新潟市で実施されている対策です。)

---

編集担当

国土交通省 北陸地方整備局  
道路部 地域道路調整官 吉田  
連絡先 TEL : 025-280-8880 (代表) (内線 4118)

---